

洋書輸入協会会報

VOL. 6
NO. 5

(通巻61号) 昭和47年5月

祝 詞

当協会理事として設立当初より永年に亘り尽力され、業界の発展に貢献された服部正喬氏が、このたび叙勲の榮譽に浴されましたことは誠に喜ばしいことです。氏の人格と業績から当然のことながら、改めて会員一同に代りお祝を申し上げます。今後とも壮健でご活躍されんことを願いたします。

理 事 長 司 忠

(株)国際書房 服 部 正 喬

昭和47年春の叙勲に際して、勲五等瑞宝章受章の榮譽に浴しましたことは、私にとって誠に身に余る終世の光榮であり感激であり、殊に理事長始め会員諸卿から寄せられました御祝詞の数々に対して全く感謝の辞に苦しむ次第で、茲に誌上を借りて深謝の意を表させていただきます。

しかし、今回の受章は、私個人にとってよりも、洋書輸入業者に対して叙勲褒賞の道が開かれた意味に於いて、私は非常な喜びを感じています。今更いかがかと思いますが、中国文献の輸入の功績はいはずもがな、解体新書が出たのが安永2年(1774)シーボルトが長崎に来たのが文政6年(1823)此等を段階として西洋の科学、西科学術書に対する国民の憧憬需要が培養され洋書受入の体質が完成していたとはいへ、明治維新頃から西洋の書物の輸入が開かれ、それから現在に至る百余年間に現在の日本文化を築き上げる程度に迄、精神的食



物即洋書を、わが学术界に供給して来た洋書輸入業者の努力、そしてわが国家公共に対する莫大な貢献が、今迄叙勲の形では認められずに来たことは、誠に遺憾至極と平素から痛感していたのですから、今回の受章は、夫が外の方に対してであっても、私にとっては誠に大慶至極と歓喜雀躍の次第であります。

顧みますと、国際書房は創業五十年に余り創業以来大学や教授専門研究者を主な顧客として、学術書殊に尖端的或は貴重、重要文献を以って奉仕して来たのであり、私自身洋書輸入協会創立当初の理事としては現存する唯一人でありますけれども、叙勲の理由が国家公共に対する功勞である事を考へますと、経営の規模は小さく、奉仕に於いては、エクセプタメデイカの事業等を除いては、特殊の功績は少いと申さねばなりません、其の私如きが推挙されました事は理事会殊に理事長の深遠なご理解御配慮の結果と深い敬意と謝意を感じざるを得ません。

現在の業界は卓越した同業諸卿が活潑な活動を展開して居られます。そう云う方々にとっても今回の受章は大きい刺戟であり、今後は今回のより遙に進んだ叙勲が実現する事を信じて疑いません。

勲一等瑞宝章受賞の司理事長には老来益々御健康御活躍と拝察していますが今後の一層の御摂養を業界のためにも特に御願ひ申し上げます。

行先を忘れてのぼる不死の山

一足ごとに天地開けて

ある先輩のこの一句を理事長に謹んでお贈りしたいと思います。

理 事 会 報 告

4月10日（月）

(一) 正会員申込み審議。

1. 資料研究所

代表者 平 田 晴 義 氏

2. 株式会社 東亜ブック エキスポート

代表者 鶴 三 郎 氏

3. 株式会社 ミロブック サービス

代表者 鈴 木 富 夫 氏

……審議の結果、銀行調査において格別の支障なければ承認することとする。

(二) 準会員申込み審議。

株式会社 ワコー

代表者 福 田 弘 氏

……審議の結果承認。

(三) Agent List 委員会報告。

Directory 1972 出来上り。

広告は1頁\$35で30頁が取れた。

頒布価格は1部につき

会 員 500円

会 員 外 1,000円

外国定価 \$3.50 とする。

尚、Publishers Weekly と Booksellers へ送り、紹介記事の依頼を行うこととする。

（渉外委員会より手配）

四 通関委員会報告。

1. 4月17日に通関協議会総会が開催される。洋書輸入

協会は引き続き副会長を引き受けることとなろう。

2. J B I A No. 153 お知らせを出した。

(四) 文化厚生委員会より。

1. 東西合同懇親旅行を6月16日（金）、17日（土）に計画している。

2. ゴルフコンペを企画中。

(五) 3月分及び昭和46年度収支計算、予算対比表検討。

……緊縮財政実施の結果、バランス回復。

(六) 昭和47年度収支計算、予算対比表（総務委員会案）検討。

……健全財政を続行することとし、若干の訂正を行って決定。

(七) 総会準備。

選挙権及び被選挙権は、昭和47年3月31日現在の正会員が持つこととする。尚、準会員、賛助会員及び4月1日以降入会の正会員にもすべて通知を出すこととする。

(八) 文教委員会報告。

4月26日（水）於出版クラブ

(一) 総会議事進行のための打ち合せ。

(二) 準会員申込み審議。

穂高書店

代表者 青 柳 健 氏

……審議の結果承認。

定時総会報告

4月26日(水) — 於出版クラブ 14:00~17:00

(一) 総会成立

出席28社、委任状19社、計 会員69社中の47社により成立。(最終的に出席38社)

司会を洋販渡辺氏にお願いする。

(二) 理事長代理挨拶(中田氏)

ニクソン ショック、円の切上げ、新販売価格の発足等と、昨年度は多事多難であった。今年一杯は円の再切上げはないと判断するが、業界の発展のために、今後とも協力一致して努力したい。

今回の春の叙勲に、国際書房の服部社長が該当することとなった。業界として大変喜ばしいことである。服部氏は、永年にわたる洋書輸入協会への御尽力の他、戦後 Excepta Medica に日本の情報を送る仕事をなされているが、此の点も評価されていると聞いている。協会としても名誉なことで、御同慶の至りである。

(三) 新入会員の紹介

正 会 員：幸洋商事、光洋書、資料研究所、オリエンタルブックセラーズ、東亜ブックエクスポート、ミロブックサービス。

準 会 員：千代田洋書、テクニコンドキュメントサービス、ビルボードパブリケーション、コウケンブックス、国際出版貿易、ワコー。

賛助会員：ウエザーヒル、リットンエデュケーション、ナルインターナショナル、アデイソン

ウエスレー、ブックスフォーアジア、ワイリー、フエッファーアンドサイモン、ハーパーアンドロー、マクミランジャパン、ブリティッシュブックス。

(四) 理事会報告(福田氏)

1. 円切り上げに際しての善後処置。
2. 協会規約の改正を行い、準会員と賛助会員の制度を設け、本日紹介の通り多くの新しい会員を迎えることが出来た。
3. 委員会活動も活況であったが、協会の多面性による必要に迫られ、次の二つを新設した。

エイジェントリスト委員会
文教委員会

(五) 各委員会報告

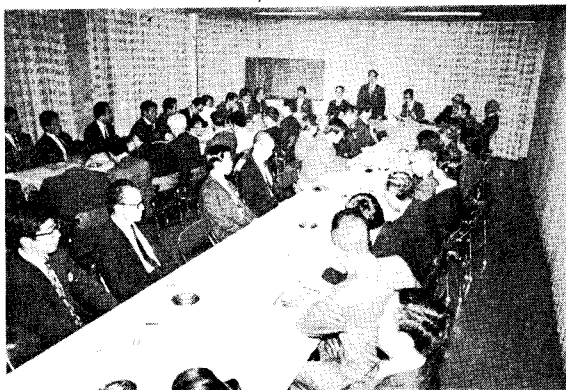
- ◎総務(柴田氏) ◎会報(相良氏) ◎経営(石内氏)
- ◎渉外PR(鈴木氏) ◎雑誌資料(村山氏)
- ◎雑誌補充(鈴木氏) ◎価格査定(一條氏)
- ◎洋書交換(服部氏) ◎通関(柴田氏)
- ◎文化厚生(渡辺氏) ◎エイジェントリスト(柴田・栗原氏) ◎文教(福田氏)

(六) 昭和46年度決算報告(柴田氏)

全 監査報告(竹内氏)
……承認

(七) 関西支部事業報告及び決算報告(丹羽氏)

価格査定業務、厚生事業、通関業務、雑誌交換、雑誌



共同カタログ等。

種活動に積極的御参加を希望する。

(ウ) 役員選挙

1. 議長より選挙管理委員指名。

山県、三品、鈴木（メクレンブルグ）、村山（ゲーテ）、本田、上杉の各氏とする。

2. 投票結果

理事：投票数 57票

一位	紀伊國屋書店	50票
二〃	丸 善	49〃
三〃	日本洋書販売配給	45〃
四〃	極 東 書 店	43〃
五〃	東 光 堂	42〃
六〃	国 際 書 房	40〃
七〃	ユー・エス・エシアティック	34〃
八〃	三洋出版貿易	33〃
九〃	日本出版貿易	19〃
次点	U. P. S.	16〃
	南 江 堂	16〃

監事：投票数 55票

一位	竹 内 書 店	29票
二〃	南 江 堂	28〃
次点	内 外 交 易	4〃

(ウ) 新理事による理事長互選

丸善と決定

(イ) 新理事長挨拶（福田氏）

ベストを尽くしたいので、協力をして欲しい。協会の各

(イ) 昭和47年度予算案上程

提案理由：福田氏

内容説明：栗原氏

単位 千円

年 度	収 入	支 出	期中十二	特別会計入	次期繰越
S 44					1,180
45	4,240	4,613	-373	300	507
46	4,879	4,804	93	300	300
47	5,624	5,216	408	300	408

以上、健全財政を貫き、基金を増加したい。

……承認。

(イ) 国際書房服部氏より叙勲の挨拶。

(イ) 東大問題報告。

(ウ) 閉会の挨拶（相良氏）

昭和46年度の規約改正により、協会としての体質が大きく変っていくことと思う。今年々頭の理事長挨拶の中で抱負として述べられたが、個人的所見としても、親睦団体としての協会活動には限界があるので、今後は財団法人なり社団法人なりへの社会的位置づけが必要となってくるのではないと思う。その研究に着手する時機であらう。

以上をもって定時総会を終了し、別定において長老三品氏の音頭で乾杯の上、懇親パーティが行われた。

文化厚生委員会だより

才1回ゴルフコンペ開かる

72会誕生以来待望の才1回コンペが4月28日伊豆の天城CCに於て開催された、当日は今シーズン最高の気候に恵まれ、天城の山岳戦も苦にならずプレーを楽しみ親睦にも大いに役立った。

昼食前に1ラウンド終り1ストロークを争う熱戦が展開された。激斗27合の末入賞者は下記の通りでした。

優勝尾崎（伸興通商）2位村山（ゲーテ）3位上杉（UPS）あいにく連休前の月末とあって参加者8名と少なかった事は残念であり、出場を断念された方々に申し訳ない次才。次回は6月中旬の予定です。奮って多数の御参加を望みます。

幹事記

明治初年の医学書・原書と訳本

八 木 佐 吉

早矢仕有的という珍しい姓名の若い蘭法医が、幕末安政頃に江戸の両国薬研堀で開業していた。有的は天保八年八月（1837）美濃国武儀郡（今、岐阜県）笹賀村に生れた。村の医師山田柳長の子で、産れる前すでに父柳長は死亡して、祖父早矢仕才兵衛に母とともに養われた。長じて、父の志をつぎ、医家たらんとして、大垣に出て、次いで名古屋において医学を修業した。帰郷して開業したのは18才と伝えられる。

23才のとき庄屋高折善六の援助と奨めによって、更に医道を進歩させるために江戸に出る。安政年間のことであった。両国附近に開業医となり、かたわら、蘭学医坪井信道の門に入り研纂に努めた。有的は更に、開国後の学問の動向、社会の進展のさまを見きわめて英学に進むこととなる。

かくて、慶応三年（1867）二月福沢諭吉の塾に入門する次才となった。福沢は天保五年（1834）の生れ、早矢仕は三才年下の同八年生れであるから、師弟というよりは同時代人としての認識のもとに、心と心のふれ合いが最も緊密であった模様である。近年有的が“福沢山脈”の一峰と称えられる所以である。

慶応四年幕藩体制は崩れて、明治新制の世となった。早矢仕は、新たに西洋文明への窓口となった横浜に移り、医療のかたわら、商業の道に入る準備をしていた。

福沢が再三のアメリカ・ヨーロッパ渡航中の見聞と洋書を読過しての経済知識で、西洋式組織の実業を具体化しよ

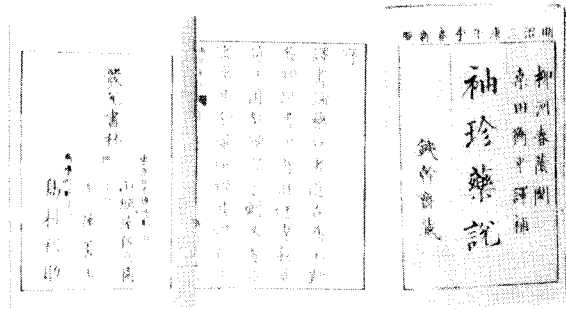
うとして当らしめたのが、早矢仕を創業者とした丸屋商社すなわち、今の丸善の発足であった。目的とするところは、西欧の文明、学問知識をわが国への移植に資するための諸物品の輸入販売であった。従って、洋書の輸入を主とする態勢となったのである。文献にともなって医薬品、医療器械の類、その他西洋の服飾雑貨、文房具などに及んだのであった。

一方また翻訳書の出版、邦人の著作にして新らしき学術・産業の推進に資する書物等は進歩的にとりあげて自社出版をし始めた。明治二年（1869）横浜に開店、翌年東京に支店を開く、すなわち日本橋の現在地の一角であった。

ここでは丸善社史を書くつもりはないのでこの辺で省略するとして、有的は江戸を引き払って横浜に移るに際して、それまで町医者として比較的にお客先も多かったが、それをことごとく友人桑田衡平医師に引継いで貰った。

桑田は天保七年武州高麗郡の生れ（1836～1905）。長じて江戸に出て坪井信道等につき蘭学を修めた。早矢仕有的と同門である。早矢仕の開業に後れること二年余文久二年（1862）日本橋住吉町に開業した。桑田は学力高く、当時すでにオランダ医学書の翻訳「コレラ病篇」などを出版している程であるが、友人有的と同じくのち英学に転じた。維新後は官医となり、新設病院の医官、更に文部省所屬、兵部省軍医等を歴任明治六年軍医正となった人。（その後は省略する）

この桑田が明治三年英書の翻訳書「袖珍薬説」初中下編



三部を書いている。出版元は丸屋善七、山城屋佐兵衛、島村屋利助三軒の共同出版である。三者共に日本橋にあった。丸屋善七は早欠仕有的の替名といってもよい。友人の翻訳医書の出版を引き受けたが、開業そうそうの力不足か、あるいは先輩版元に仁義立てをしたのかは、今となっては察しようもない。とも角この本「袖珍薬説」初版は単独出版ではないが丸善の出版物の一号である。原著者は慧絶氏(ウエーゼス)書名は「ポケット・ドーズ・ブック」一千八百六十六年刊行の書、と序文に書かれている。按ずるに Joseph H. Wythes の Pocket Dose Book 1866年アメリカ版であろう。木版片面刷り十行宛、和綴じ美濃半裁判(17.2×12.3cm)

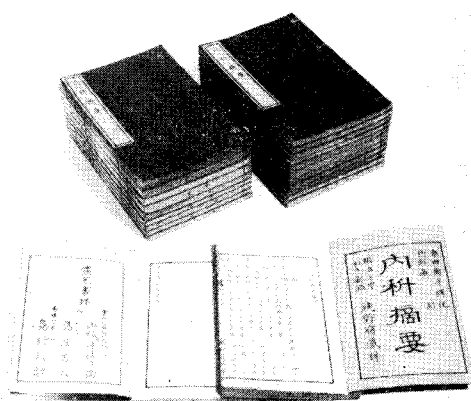
で、初編九八丁、中八三丁、下〇三丁あり——頁類としては倍数となる。

なお序文には“医家掌中分量考なり、けだしその載する所専ら薬局日用の諸製剤ならびに草根木皮花実脂油より蟲魚獸畜山物鉱属に至るまで医薬に供すべき品物は毎品その服量を挙げ併て製法性能主治禁忌等を配列し……”とあり、本書の内容を明らかにしている。更に量を計る指導には、薬局秤量の表を附しポンド・オンス・ガロン等の大略の説明をなし、茶盃・ティーコップ、酒盞・ワインガラス、食匙・テーブルスプーン、茶匙・テースプーンと和名に洋称を添え

ているなど、計量一つにも苦心のあとがうかがえる訳著である。なお本書は改訂を加えて明治二十年近くまで行われた模様である。「薬説」に就いては書くべきこと、更に多いがこの辺でとどめる。

桑田衡平は明治五年に「内科摘要」二十二巻を出し、これまた広く読まれ利用されたことも書き添えておかねばならない。この書も版元は前記丸屋・山城屋・島村屋の三者共同である。木版和紙片面刷り各十

行、和綴じ、美濃半裁判(18×12.3cm)十一編二十二巻。各巻三〇～四五丁(総数約1700頁)・桑田の凡例には“原書はアメリカ・ペンシルウエニア邦大学校健全学教頭兼内科助教ヘンリー・ハルツホルン氏の著述にして一八六九年



改正せし所の才二版に係る。すなわち原本は内科総論兼治療法と題して其初めに提要、原病学、徴候学、一般療法及び諸病の分類を載せて、……次に各病の病理及び療法を論じて……”とある。古い書目を調べて著者名は Henry Hartshorne と判ったが、原書名は推定では“Essentials of the Principle and Practice of Medicine” 2nd ed., 1869. ではあるまいかと思うが、彼我の文章を比考しない限り断定はくたせない。この書の解題は後日原本を探し得てのちを期すこととして今回はこれで筆を擱く。

「スイスの出版統計」

スイスの1971年の出版統計が“Der Schweizer Buchhandel”の3月15日号に発表されている。これによれば、スイスの1971年の総出版点数は、前年より349点減少し、6,087点にとどまった。小説の260点減少、医学の61点減少、経済・法律の各30点前後の減少が目立っている。地理や歴史の分野は増えているが、全体をカバーするにいたらなかった。

輸出入の数字も同時に発表されているが、輸入が180,324,161スイス・フランで約10%の伸びであるのに対し、輸出は187,521,991スイス・フランで20%の大幅増を示した。スイスの輸出物としては、チーズやチョコレートなどが知られているが、1971年の輸出額はチーズが276,395,518スイス・フラン、チョコレートが103,403,943スイス・フランであるから、書籍の輸出額はこれらをはるかにしのいでいる。(Schweizer Buchhandel, 3月15日号より)

「V L B の 補 巻」

昨年はじめて刊行されたドイツの「ブックス・イン・プリント」V L Bは、今春補巻が出されることになっていたが、編集の都合により今回は中止されることになった。収録するべき点数が17,000点しか集まらなかったことと、何度か締切

会 員 紹 介

ひかり

光 洋 書 株 式 会 社

エ ネ ル ギ ー 問 題 に 取 組 む

洋書輸入業者が、営業活動が続ける上での重要なポイントは、1.資本 2.市場の問題 3.経験 4.人材及び労務管理等々、この辺までは一般の企業と何等変りはないが、特に専門化という事になると、我々同業者にとって重要な要素を持ってくるのではないだろうか。この点から榊光洋書は専門化されたなかでも更にユニークな専門店として紹介する価値が出てくる。代表取締役の吉兼氏は1950年以来、榊海外出版貿易で洋書の仕事にたづさわって来られたというから、その時代から現在の専門店としての道を歩みはじめられたといっても過言ではない。

1965年スタッフ三名と共に独立、榊海外出版時代から痛感していた、エネルギー問題、つまり石油問題についての資料提供の必要性に立って、その分野での活躍をはじめられた。当時は燃料革命の流れから考え、これからはエネルギー問題が日本経済を左右する重要課題であり、世界石油資本の手を通じての輸入原料加工精製では遠からず行詰ることは必至と見られていた時期でもあった。1968年頃は中東の石油問題が世界的に波紋を投げかけ、政府も漸く燃料の長期定供給の必要性を認め、その梃子入れにより石油開発会社も増え、従ってその為の文献資料の需用も以来増加しつつあるとのことである。今後は原油開発～輸送(タンカー、パイプライン)～精製～販売に関連する一連の経済問題、技術資料等の特異な専門店たるべく努力して行きたいが、これ以上大きくもならない小さくもならないでしよう。吉兼氏は謙そんして語られたが、これからも同社の、時代の将来を見通した堅実な歩みを続けられ発展されることを期待したい。

りを延期したため、1972年版の本体の出版時期ときわめて接近してしまったためである。補巻用にエントリーされたタイトルは、すべて1972年版本体に収録されることになった。なお、本体の出版は、フランクフルトの国際書籍展と同時期に予定されている。(Börsenblatt 西独版、4月18日号より)

「ガブラーがベルテルスマンの経済書を継承」

西ドイツのヴィースバーデンの経営学専門の出版社 Der Betriebswirtschaftlicher Verlag Dr. Th. Gabler は、昨年 Bertersmann 出版グループと取り交わした協業協定にもとづいて、ベルテルスマンの傘下の Bertersmann-Fach-Verlag と Universitätsverlag の経済書全点(現在企画中のものや再版を含む)と、同じく雑誌 “Praxis des Kaufmanns” を、同グループから引き継ぐことになった。(Börsenblatt 西独版、4月18日号より)

「化学と物理の合同」

西ドイツのヴァインハイムの Verlag Chemie は、ドイツ物理学会と共同で、モスバッハの Physik Verlag の多数株を引受けた。これにより、Physik Verlag はヴァインハイムに移り、Verlag Chemie はその共同経営に当ることになった。化学と物理が、文字通り一つ屋根の下に入ることになったわけである。(Börsenblatt 西独版、4月5日号より)

—— 紀伊國屋書店提供 ——

ニュース

- 米国 Academic P. の President, Mr. Walter J. Johnson と Vice President の Mr. J. K. Burgess, 4月中旬来日。
- 米国 Univ. Press of Hawaii の Seles Manager Mr. Norman J. Wright, 4月中旬来日。
- 米国 Gordon and Breach Science Pub. Inc., の Mr. Martin B. Gordon, 4月下旬来日。
- 英国 Edward Arnold (Publishers) Ltd., の Chairman and Managing Director の Mr. Anthony Hamilton, 5月上旬来日。

会員紹介

(株)東亜ブックエクスポート

創立1966年以来学術雑誌バックナンバーの専門商社として現在に至る。外国雑誌バックナンバーの輸入国内販売は無論のこと、和雑誌バックナンバーの直輸出も手掛けている。輸出60%、輸入40%が現在の営業比率。古書会館の立地条件を生かし、在庫中心の販売及び図書館で希望する欠号補充にも積極的に活動する。 Japanese Journal of Pharmacology, Japanese Journal of Microbiology, Mathematical Journal of Okayama University, Endocrinologica Japonica 等のリプリントも行う。平均年令25才の若きスタッフなれど、バックナンバーだけの販売に終らず出版等の方面にも意欲的に活躍したい。

通 関 統 計

外国貿易概況（大蔵省関税局編、日本関税協会発行）
1972年1月号所載。

書籍・新聞・雑誌の輸入額。

昭和47年1月 \$2,243,000

昭和46年1月 \$1,328,000

前年比 169%

(註) 1. 此の統計は、C I F 価格で7万2千円以下の少額貨物は含まれない。

2. 昭和47年1月より、郵便による通関分を含むようになったため前年比が急激に上昇している。

総代理店ご案内

次の通り日本総代理店の案内がございました。お手許の Agent List にご記入願います。

株式会社 医学書院 ☎ 814-5931

Harvey Miller Medcalf Ltd.

Curran, R. C.: Colour Atlas of Histopathology.

108 pp. 780 color plates. 2nd ed. 1972 ¥5,920

S. Karger AG

Frontiers of Hormone Research Vol. 1;

Thyrotrophin Releasing Hormone.

(Hall, R. et al.)

196 pp. 134 figs. 1972 ¥5,860

Lea & Febiger

Winsor, T.: Primer of Vectorcardiography.

307 pp. with figs. 1972 ¥5,040

Little, Brown & Co.

Lagos, J. C.: Differential Diagnosis in Pediatric Neurology.

346 pp. with figs. 1971 ¥4,860

The C. V. Mosby Co.

Smith, C. H.: Blood Diseases in Infancy and Childhood.

992 pp. with figs. 3rd ed. 1972 9月出版予定
約¥11,700

Springer Verlag

van Buren, J. M. & Richter, H.: Variations and Connections of the Human Thalamus.

2 parts. 469 pp. 285 figs. 1972 約¥71,300

5月出版予定 予約価約¥64,170 (6月30日迄)

The Williams & Wilkins Co.

Brinkhous, K. M. et al.: The Platelet; International Academy of Pathology Monograph No. 11

420 pp. with figs. 1971 ¥9,180

Gall: The Liver, International Academy of Pathology Monograph No. 13

6月出版予定

Goodgold, J.: Electrodiagnosis of Neuromuscular Diseases

300 pp. 76 figs. 1972 約6,480

医歯薬出版株式会社 ☎ 944-3131

The C. V. Mosby Company

Sassouni: Orthodontics in Dental Practice,

573 pp. 1,101 illus. 1971 ¥9,800

Sicher & Bhaskar: Urban's Oral Histology and Embryology, 393 pp. 480 illus. 4 in color.

7th ed. 1972 ¥5,580

Churchill/Livingstone

Lucas: Pathology of Tumours of the Oral

Tissues, 400 pp. 123 illus. 2nd ed. 1972 ¥7,210

Karger

Schroeder & Listgarten: Monographs in

Developmental Biology, vol. 2; Fine Structure of the Developing Epithelial Attachment of Human Teeth, 134 pp. 40 figs. 2 tables. 1971

¥5,060

Quintessenz

Drum: Images Demonstrandae, 80 pp.

239 figs. in full color. ¥22,400

株式会社 紀伊國屋書店 ☎ 354-0131

Longmans, Group Ltd., U. K.

R. Quirk, S. Greenbaum, G. Leech and

J. Svartvik—A Grammar of Contemporary English. 1,120 p. 1972

¥10,000

丸善株式会社 ☎ 272-7211

Place Jean-michel et Vasseur. -

Bibliographie des Revues et Journaux Littéraire des XIXe et XXe Siècles ca 20 volumes (Éditions de la Chronique des Lettres Françaises, Paris)

Fishbein, L. -

Chromatography of Environmental Hazards. 3 Vols.

(Elsevier, Amsterdam) ca ¥16,000 per vol.

株式会社 南江堂 ☎ 811-7234

New Developments in Electromyography and Clinical Neurophysiology (Proceedings of the 4th International Congress on Electromyography, Brussels, Sept. 1971) (in 3 Vols.)

edited by J. E. Desmedt

- 1972 (S. Karger, Basel)
The Upper Cervical Spine
by D. von Torklus & W. Gehle
1972 ¥5,170
(Georg Thieme Verlag, Stuttgart)
Bone Tumors, 4th ed.
by Louis Lichtenstein
1972 4月発行予定 ca. ¥7,740
(The C. V. Mosby Co., St. Louis)
- ㈱ ト ッ ペ ン ☎ 833-2111
International Dictionary of Building Construction:
English-French-German-Italian
edited by Angelo Cagnacci Schwicker
Published by Technoprint International,
Milano, Italy
1280 pp. 1972 ¥14,400
- The Principles of Polination Ecology, 2nd ed.
by Fraegri, K. & van der Pijl, L.
Published by Pergamon Press
- Plant Metabolism, 2nd ed.
by Street, H. E. & Cockburn, W.
Published by Pergamon Press
- ㈱ タ ト ル 商 会 ☎ 811-7106
The Grzimeks Animal Life Encyclopedia, 13 Volumes
Edited by the winner of the Golden Medal
of the World Wildlife Fund.
Special subscription price ¥117,000. per set
Regular list price 140,400. per set
(Litton Educational Pub. = Van Nostland Reinhold)
- Publication Schedule:
Vol. 10 (Mammals) —1~April 1972
Vol. 13 (Mammals) —4~May 1972
Vol. 7 (Birds) —1~June 1972
Vol. 8 (Birds) —2~July 1972
Vol. 11 (Mammals) —2~August 1972
Vol. 9 (Birds) —3~October 1972
Vols. 1 (Lower Animals) 3, (Mollusks)
4, (Fishes-1) & 5, (Fishes-2) ~1973
Vols. 2, (Insects) 6, (Reptiles) &
12, (Mammals-3) ~1974
- 「なお、本年6月15日までにお受けする御注文は予約特別価格で、それ以降は、List price でお願ひ致しますのでお早めの、御注文をお奨め申し上げます。

訂正記事

洋書輸入協会々報 Vol. 6 No. 4 (昭和47年4月号) の理事會報告の中に、有限会社国際出版貿易商會が正會員として入會申込審議せられているようになっていますが、これは準會員としての審議の間違ひですので、御詫びと共に訂正させていただきます。(會報委員會)

會員の横顔

関東書籍 ㈱

高木 公



昭和6年、満州事變の際、高木さんは現役で海倫にいた。東支鉄道(後の満鉄)先端の最前線である。当時鉄道の管理はロシア人が担当し、労働者は満人であった。駐屯中に聞

き覚えたロシア語と満州語を、高木さんは刻明にノートし、持っていた手帳は一寸した日・露・満三ヶ国語辞典となった。この辺やはり丸善学校の出身者である。そして後年、丸善新京出張所に在任中、現地召集を受け間もなく終戦。そしてシベリヤでの抑留生活が始まった時、十数年前に覚えた片言のロシア語が大いに役立つことになる。炭坑での労務だったが、坑内で働かなくて済んだのも、「お前の長靴ハラショー」てなことを兵隊に話しかけることが出来た功德ではなかったらうか。

明治42年福島の子。少年時代から酒をたしなむ。といっても大っぴらに飲めるわけがない。父上が神主で、その晩酌を買いに高木少年が酒屋に行くと、神職への畏敬の表れとして余分に量りこんでくれる。そのオマケを家に帰るまでに少年が頂戴するという次第。震災の翌年丸善に入り、兵隊にゆく時送別会で大いに飲み、八木さん(現、丸善本の図書館長)に護国寺まで送ってもらったが後は前後不覚。墓地の中で寝ているのを曉がた交番のお巡りさんが見つけてくれ、家まで送りつけてくれた、とか。とにかくお酒にまつわる高木さんの愉快な話はきりが無い。

丸善在職40年、その間20年は支店勤務。なぜ俺ばかり地方にとばされるのか、と不平に思ったこともあるが、自営してからその経験が大変役に立ったという。

旅行が好きで、謡曲は30年来研鑽を積み、又俳句は富安風生の門で、俳号を近江という。高木さんの名はオオミと読むのだが、誰もそう呼んでくれないのでせめて俳号だけでも、とつけた名だそう。とにかくいつ迄も元気で、後輩の指導に当たってもらいたい人の一人である。(自宅: 杉並区宮前2-21-23)

拝啓 深緑の季節を迎え、みなさまのお仕事もますますご発展されていることとおよろこび申し上げます。

私は3月10日付で10年間勤務した日本プレンティス・ホール株式会社を退社いたしました。在職中は公私にわたりご指導下さり本当にありがとうございました。ご挨拶が遅れましたが心からお礼を申し上げます。

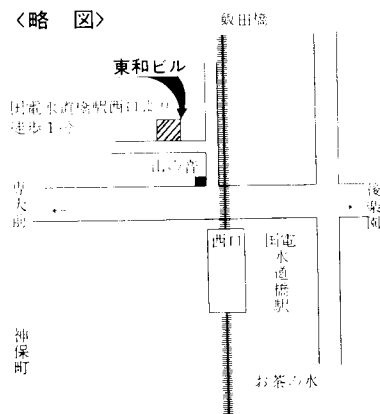
大変未熟ではありますが、今までの経験を基礎に5月1日から有限会社 **オークラ・サイエンス** の名称で **Life Science** を主体としたビジネスを開始することになりました。幸運にも米国医学出版社の名門で180年をこえる歴史をもつ **Lea & Febiger** と **J. B. Lippincott Company** 両社の出版物（医・歯・薬・看護学と関連分野の原書と版權）を日本と極東地区で代表しプロモートすることになりました。

小さなオフィスではありますが、下記の場所にこの両社の新刊見本書を展示し資料も準備しておりますので、どうぞお気軽にお立寄り下さいますようお願いいたします。

これまで以上のご指導とお力添えがいただけますようどうぞよろしくお願い申し上げます。

敬 具

<略 図>



1972年5月1日

有限会社 **オークラ・サイエンス**

大 垣 雅 昭

東京都千代田区三崎町3丁目6番15号東和ビル

☎ 101 電話：東京 (03) 264-3980

昭和47年5月 通巻第61号 洋書輸入協会 編集者 寺久保一重

☎ 103 東京都中央区日本橋江戸橋1-15-5 藍沢ビル302号室 ☎ 271-6901

☎ 530 関西支部 大阪市北区芝田町28 第一山中ビル ☎ 371-5329